

切花用フランネルフラワーの新品種「フェアリーカスタード」の育成	
【要約】切花用フランネルフラワー新品種「フェアリーカスタード」は、切花用品種では初となるクリーム色の花色を有する。既存品種の「ファンシーマリエ」より茎径が細く、花は、やや小ぶりで、総ほう片の幅が細く、総ほう片数も多いのが特徴で、一般的なフランネルフラワーの総ほう片数が 10 枚程度に比べ 13 枚程度となる。	
農業技術センター 花き部	【連絡先】 058-239-3132

【背景・ねらい】

切花用フランネルフラワーは、春一季咲き性の「ファンシースノー」および春と秋に出荷が可能な「ファンシーマリエ」を育成し、岐阜県のオリジナル品種として消費者や生産者から高い評価を得ている。しかし、育成した切花用フランネルフラワーは、いずれも花色は白色であり、花色のバリエーションが乏しい。そこで、黄花色鉢花品種を用いて品種改良を行い、黄花色切花品種を育成した。

【成果の内容・特徴】

- 1 草丈は、対照の切花用品種「ファンシーマリエ」よりもやや低く、鉢花用品種「フェアリームーン」より高い 76cm である（表 1、図 1）。
- 2 茎の太さは、「ファンシーマリエ」と「フェアリームーン」より細い 5.3mm である（表 1）。
- 3 葉片の幅は、「ファンシーマリエ」と「フェアリームーン」より狭い 3.2mm である（表 1）。
- 4 花の直径は、「ファンシーマリエ」と「フェアリームーン」より小さい 5.8cm である（表 2、図 2）。
- 5 総ほう片の幅は、「ファンシーマリエ」と「フェアリームーン」より狭い 0.8cm である（表 2、図 2）。
- 6 総ほう片の主な色は、「フェアリームーン」よりも濃いクリーム色である（表 2、図 2）。
- 7 総ほう片の数は、「ファンシーマリエ」と「フェアリームーン」より多く 12.5 枚である（表 2、図 2）。
- 8 開花習性は、一季咲き性である（表 2）。

以上の結果、「フェアリーカスタード」はクリーム色の花色で、「ファンシーマリエ」よりも茎が細く、花は、やや小ぶりで、総ほう片幅が細く、総ほう片数が多いのが特徴で、これまでの一般的なフランネルフラワーの総ほう片数が 10 枚程度に比べ、13 枚程度である。

【成果の活用・留意点】

- 1 出荷時期は 3 月から 5 月であり、前年の 4 月から 5 月に播種する。播種時期を早め、冬季温度を高く管理するほど開花時期が早くなるため、3 月からの出荷が可能である。
- 2 「ファンシーマリエ」よりも枝が細く、花は小ぶりで、葉も小型となることから、よりアレンジに使い易いため、需要拡大が期待できる。
- 3 本品種は品種登録出願中である。

【具体的データ】

表1 「フェアリーカスタード」の形態特性

品種名	草丈 [cm]	茎太 [mm]	葉片幅 [mm]	葉身長 [cm]	1次分枝数 [本]
フェリーカスタード	76.0	5.3	3.2	6.2	8.2
ファンシーマリエ (対照)	83.0	9.2	5.2	8.0	7.7
フェアリームーン (対照)	28.0	6.8	5.8	8.3	9.2

表2 「フェアリーカスタード」の花の特性

品種名	花の直径 [cm]	総ほう片幅 [cm]	総ほう片の 主な色 注)	総ほう片数 [枚]	開花習性
フェリーカスタード	5.8	0.8	クリーム色 (8C)	12.5	一季咲き
ファンシーマリエ (対照)	7.4	1.2	白色 (155B)	9.7	二季咲き
フェアリームーン (対照)	7.2	1.6	クリーム色 (9D)	10.2	二季咲き

注) カッコ内はRHSカラーチャートの色票番号



「ファンシーマリエ」 「フェアリーカスタード」 「フェアリームーン」

図1 草姿の比較



「ファンシーマリエ」 「フェアリーカスタード」 「フェアリームーン」

図2 花の比較

研究課題名：新規需要の創出に向けたオリジナル花きの育成（令和2～6年度）

研究担当者：松古浩樹